

あ わ はつ 阿波の八ちゃん みなで、ようにせんか!

～砂レキが復活し、清流にアユが躍る那賀川づくり～

第9回 応用生態工学会 全国フィールドシンポジウム in 阿南

那賀川上流域では、急峻な地形、脆弱な地質とあいまって多雨地帯であるため、大規模な崩壊による土砂災害が発生するなど土砂生産が活発です。那賀川水系では戦後に5つのダムが建設され、洪水調節、電力供給等に大きく寄与しています。特に長安口ダム、小見野々ダムでは土砂が大量に堆積し貯水池機能の保全に課題が発生しているほか、土砂生産域から河道に流下する土砂の通過を分断しています。そのため、ダムより下流では、河川の河床低下や河床材料の粗粒化、生物生息環境への影響等の課題が生じています。これらの課題を解決するために、平成19年度以降、長安口ダムに堆積した土砂を掘削し、ダム下流へ置き土砂を行い洪水によって下流河川に還元してきました。その量は約140万m³と全国にも例のないものとなりました。そこで、その土砂還元が下流河川に及ぼす影響を把握するために河床の状況や自然環境調査をはじめとしたモニタリング調査を実施し、一定量のデータが蓄積されました。

そこで、本格的な土砂還元の実施から10年の節目を迎えるこの時期にシンポジウムを開催することとしました。

本シンポジウムでは、ダムからの土砂還元による下流河川の変化に着目して基調講演の実施、長安口ダムにおける置土モニタリング結果報告のほか、土砂還元をしている全国の他ダムの事例報告、土砂生産域から那賀川の河口までを視野に入れて「那賀川における健全な土砂環境の姿とは」をテーマに総合討論を行い、那賀川流域において「砂レキが復活し、清流にアユが躍る川づくり」の実現へ向けて、地域住民との相互理解が深まることを目的としています。

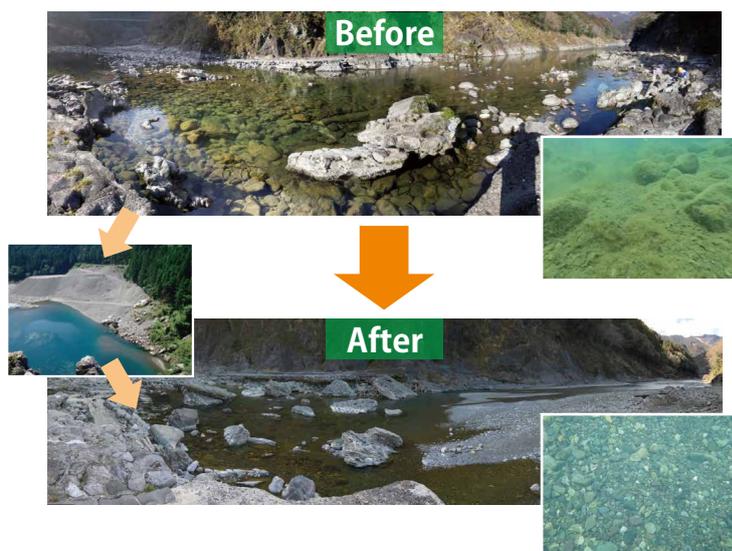
●日時:
平成30年
1月27日(土)・28日(日)

27日(土)シンポジウム 【無料】 13:00~17:30
28日(日)フィールドツアー【有料】 8:30~13:00

- 会場:阿南市 ひまわり会館 2階ふれあいホール
徳島県阿南市富岡町北通 33-1
- 定員:シンポジウム 100名
フィールドツアー 40名



【“阿波の八郎”の由来】
昭和62年に流域住民からの那賀川のアユ愛称募集の結果、流域市町村の数(8)を主体に吉野川の四国三郎に倣って、八の字の縁起により「八郎」の名前が誕生した。



共催:応用生態工学会
国土交通省
那賀川河川事務所

お申し込み・お問い合わせ:
フィールドシンポジウム in 阿南 実行委員会
株式会社 建設環境研究所 九州支社 竹本・南・岩川
電話:092-271-6600 FAX:092-271-6565 Eメール fukg@kensetsukankyo.co.jp

裏面の出欠返信用紙をご利用ください。
申し込み / シンポジウム、フィールドツアー共に
締切日 / 1月19日(金)

1月27日(土)

プログラム

■シンポジウム【無料】

- 13:00-13:05 開会
 13:05-13:15 開催趣旨と那賀川の沿革 (那賀川河川事務所 事務所長 野本粹浩)
 13:15-13:55 基調講演
 -自然の川は変動するもの-
 (京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 准教授 竹門康弘)
 13:55-14:05 那賀川の歌紹介
 「音楽物語 清き那賀川 ~時を超えて~」
 (阿南市立大野小学校 4年生)

—休憩—

- 14:20-14:35 “総合的な土砂管理”の現状について
 (国土交通省 砂防部 保全課 総合土砂企画官 宇根寛)
 14:35-15:35 事例報告
 那賀川:長安口ダム置土モニタリング結果報告
 相模ダム:相模川の健全な土砂環境を目指して
 下久保ダム:土砂掃流試験によるダム下流河川の環境改善のとりくみ
 15:35-17:30 総合討論(パネルディスカッション)
 「テーマ:那賀川における健全な土砂環境の姿とは」
 コーディネーター 徳島大学大学院 准教授 河口洋一
 コメンテーター 京都大学防災研究所 准教授 竹門康弘
 徳島大学大学院 教授 武藤裕則
 阿南工業高等専門学校 名誉教授 湯城豊勝
 土木研究所 上席研究員 萱場祐一
 那賀川河川事務所 事務所長 野本粹浩

- 17:30-17:35 閉会
 18:00-20:00 交流会【有料;5,000円】 場所:ロイヤルガーデンホテル

1月28日(日)

■フィールドツアー【有料;500円】

- 阿南駅8:20集合、8:30出発
- 土砂掘削箇所(追立ダム) 10:20~10:30
 - 長安口ダム置土地点(小計箇所) 10:50~11:05
 - 土砂堆積による河川環境の変化地点(水崎大橋) 11:20~11:35
 - 那賀川中下流部(川口ダム・県管理区間(那賀川蛇行部ほか)・直轄管理区間) 11:35~13:00
- ・阿南駅 13:00解散



フィールドシンポジウムin阿南 出欠返信用紙

申し込み方法;お名前・ご所属・連絡先・ご出欠を明記し下記FAX、Eメールまでお申込みください。

返信先 FAX:092-271-6565

返信先Eメール fukg@kensetsukankyo.co.jp

お名前	ご所属 (会社名、所属団体等)	連絡先 (電話またはEメール)	ご出欠※		
			シンポジウム (無料)	交流会 (有料)	フィールド ツアー(有料)
			出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席
			出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席
			出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席

※いずれかに○印をおつけください。